

行政視察報告書

厚生環境教育常任委員会委員長 片山 竜美

1 日 ち	令和3年11月1日(月)
2 視 察 先	多治見市立笠原中学校
3 参 加 者	【委員長】片山竜美【副委員長】井上あけみ 【委員】玉置真一、奥村孝宏、若尾敏之、仙石三喜男、嶋内九一 【議会事務局】虎澤智子
4 調 査 内 容	テーマ：ICT教育への取り組みについて
5 所感、主な質疑の内容、提言事項、課題等	<ul style="list-style-type: none">・さすが、推進校だけあって、中嶋校長先生を中心に、しっかりとした取組、体制ができていると感じた。・生徒はiPadを使いこなしており、教師も上手に活用しているという印象であった。まさに「いつでも、文房具のように」利用していた。・デジタル教科書や「ロイロノート」の活用で、教員のプリントや資料作成の手間が省け、教員の働き方改革の推進に貢献していた。また、生徒にとっても視覚的に見やすく、学習の定着につながっていると確信する。・社会科の授業で「予習してくる生徒が2/3いた」のは驚いた。端末活用の楽しさと学ぶ喜びが両輪となって、生徒の自主的な活動へとつながっていると感じた。その予習の成果で、授業でもほぼ生徒による進行で進んでいるのは、同じ社会科教師としてたいへん驚きであった。・端末と大型モニター、アップルプレイを十分に活用していた。生徒のノートやデジタル教科書などを生徒全員が共有できていた。また、生徒のノートの内容が教師にすぐに伝わり、定着していない生徒へすぐに声をかけることができるなど、学習指導にたいへん役立っている。・オンライン授業も不登校生徒への対応も含め、しっかりできている。夏休みのリモート登校日は実におもしろい取組である。・修学旅行にもiPadを持参し、教師が撮影した写真を使って、家族向けに自らプレゼン資料を作る取組は、生徒の端末活用力やプレゼン力の向上だけでなく、家族にも安心感や喜びを共有できる取組である。・授業だけでなく、学級活動や委員会活動、生徒会選挙にも活用しており、「文房具のように」いつでもどこでも活用している。・ペーパーレス化が進んでおり、職員会資料も印刷せずに済むのは、経費と労力の削減につながっている。また、検索すれば欲しい資料がすぐに見つかり、探す手間も省けている。一生懸命分厚い資料を作っていた私にはうらやましい限りである。・ビジネスチャットによる会議時間の短縮も行えているなど、これも教員の働き方改革につながっている。

<課題>

- ・この笠原中の取組を全小中学校に、速やかに広げ、実践できるように教育委員会にはしていただきたい。行政視察とは別に、小泉中の研究発表会を参観したが、笠原中に比べると、ICTの活用に関しては、これからであると感じた。もちろん、端末機器の活用は、目的ではなく、手段なので、焦らずに進めて欲しいが、教師や子どもたちにICTにおける学校間格差が広がらないようにしていただきたい。
- ・教員の端末2台持ち(授業用と評価などの個人情報用)もできるよう、議会からも働きかけが必要である。
- ・端末の維持管理、メンテナンス、バージョンアップへの対応など、国への要望も含め、これからの課題である。



理科



数学



社会



社会



社会



多治見市の ICT 教育の概要
について (笠原中学校長)



リモート設備

6 写 真 等

※視察先 1 件に 1 枚作成すること。